

令和7年度 大田区立東糀谷小学校 自己評価 報告書

令和8年3月2日

○ 本校の概要

児童数368人、学級数16学級(通常の学級12, 遠く別支援学級4)、教職員数45名。開校87周年を迎える本校は、笑顔あふれる学校を目指し、地域の拠点としての役割を期待されている。  
 ・児童は明るく素直で、休み時間は元気に遊び、教育目標「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「健康な体をつくる子」の下、未来社会を創造的に生きる力を育成している。  
 ・教職員は、基礎学力の定着を目標に、授業力の向上、「やってみたい、できた、もっとやってみたい授業」に向けて授業改善に取り組んでいる。誰一人取り残さない教育のため、学校力特別支援教育の充実を図っている。  
 ・コミュニティスクールとして、地域・保護者:学校が一体となり、教育活動を展開している。学校運営協議会や学校地域支援本部を中心に、地域コミュニティの核となる学校づくりを目指している。その功績が認められ、令和7年度文部科学大臣優秀教職員賞を受賞した。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 し社会 を創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。	4	○おおたの未来づくりの授業によって児童が課題解決力や新たな価値を創造する力をつけた。	4: 38%	◎ペアやグループでの話し合い、友達の意見を知る活動を多く取り入れている。 ◎タブレットや電子黒板は効果的に使用できている。 ◎英語では、コミュニケーション力を伸ばしている。	A	2	○タブレットの活用を取り入れ、誰でもが使えるように100%を目指してほしいです。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。	4	○体験活動・連合行事・外部人材の活用ができた。文章表現力と論理的思考力を育成できた。 ○タブレットを活用した授業によって、児童の情報活用能力を育成できた。	3: 57%				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。	4	4:おおむねできた 3:どちらかといえばできた 2:どちらかといえばできなかった 1:できなかった	2: 5%				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。							
					1: 0%		D	0		

<p>お世個別 お界と目 たつ標 担な2 うがる 人材を 国際育 成都市 します</p>	<p>英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。</p>	<p>①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4	<p>○英語の授業を充実させることができた。 ○地域行事への参加、地域を生かした体験学習、人権意識の啓発ができた。 ○ESD(持続可能な開発のための学習)、ボランティア活動を行った。</p>	4:34%	3	<p>◎英語では、コミュニケーション力を伸ばしている。 ◎地域行事への参加や地域を生かした体験学習をさらに活用していく。</p>	A	3	<p>○小中連携として、羽田中学のOGCルームを活用してほしいです。 ◎校長先生、先生方の地域行事への参加ありがとうございます。先生方の背中を見て多くの子どもたちが地域行事に参加することを望みます。 ○羽田中学校にOGCルームが完成します。中学生が優先ですが、空き時間で小学生も、ぜひ、利用させてもらったらいいと思います。</p>
		<p>②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4		3:60%					
		<p>③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4		2:5%					
						1:1%					
<p>た一個 め人別 のひと 基と標 礎り3 とが なる性 力と能 育力 成を し発 揮する</p>	<p>児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。</p>	<p>①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4	<p>○道徳授業の充実、読書活動の推進ができた。 ○習熟度に応じた指導ができた。 ○体育の授業改善によって、子どもの体力が向上した。 ○早寝早起き朝ごはんの取り組みができた。 ○保幼小の連携ができた。小中一貫の視点に立った指導ができた。</p>	4:52%	4	<p>◎道徳授業と読書活動の充実を図っている。 ◎学力向上のため、学校独自に学力テストを2学期末に実施した。</p>	A	3	
		<p>②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4		3:45%					
		<p>③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4		2:1%					
		<p>④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4		1:1%					

学個別 校力目 標・標 4 教師力 を向上 させます	校内研究等の OJTの充実を通 して、教師の授業 力を向上させま す。また、質の高 い教育を実現す るため、学校の 組織的な運営力 を向上します。あ わせて、教師が やりがいをもって 働くことができる 魅力的な環境づ くりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	OICTを活用した指導や新しい学びのスタイルの工夫をしている。 ○授業力向上に向けた研修の充実を図った。 ○自らのライフワークバランスを保つことができた。	4:36%	3	◎児童一人一人に合った学習ができるように授業改善を行っている。 △ライフワークバランスは課題が残る。	A	1	○ライフワークバランスとは？と思いました。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:52%			B	7	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている・どちらかといえば高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている・どちらかといえば高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている・どちらかといえば高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている・どちらかといえば高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3		2:10%			C	0	
						1:2%			D	0	
た自個 め別の ら目 学し標 びく5 をいき 支援し ますと 生きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○支援を必要とする児童に対して、組織的に対応し、特別支援教室巡回指導教員やコーディネーターと連携を図った。 ○いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、組織的に対応した。 ○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、不登校など多様な悩みのある児童への支援を行った。	4:52%	4	◎特別支援教育の充実を図り、個に応じた支援ができるようにしている。 ◎いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図っている。	A	2	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:48%			B	6	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:0%			C	0	
						1:0%			D	0	

安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的 境な学 習空 間と す安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○安心・安全な教室環境の整備を行った。 ○読書や学校行事など、特色ある学習環境を整えた。 ○安全指導日には、計画に沿って指導を行った。校内の安全点検を的確に行った。	4:66% 3:34%	4 ◎体育館の大型スクリーン設置、雷探知機の配備など学習環境を整えた。 ◎毎月の避難訓練を確実に実施している。	A	6	
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:おおむねできた 3:どちらかといえばできた 2:どちらかといえばできなかった 1:できなかった	2:0%		B	2	
						1:0%		C	0	
								D	0	
学地学個 校域校別 をコ・目 つミ家標 くユ庭7 りニ・ ますイ 地域の 核の連 携して 協働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	○わくわくサポーターの方と連携して活動ができた。 ○登下校の見守り、遠足の付き添い等、地域やわくわくサポーターの協力を得た。 ○道徳授業地区公開講座の案内をした。それ以外の講演会や学習会の案内をした。	4:70% 3:30%	4 ◎わくわくサポーターとの連携において、文部科学大臣優秀教職員賞を受賞した。 ◎パラリンピックメダリスト、元プロ野球選手の講演会を実施した。	A	7	◎学校行事に対してできるだけ協力します。 ◎小学校との連携において、町会も協力を惜しみません。これからも頑張ってください。 ◎地域との連携はうまく取れているなと思っています。今後も双方の連携を取りながら、様々なことにチャレンジしていけたらと思います。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:おおむねできた 3:どちらかといえばできた 2:どちらかといえばできなかった 1:できなかった	2:0%		B	1	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した。 1:「おおむねできた・どちらかといえばできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				C	0	
						1:0%		D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。